

産業廃棄物処理業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	13～ 14	廃タイヤをトラックのパワーゲートを利用して荷台へ移動し、タイヤを重ねる作業（50本程度）をしていたが、右手中指に力が入らなくなったり腱が断裂してしまった	49	1～ 9
1	9～ 10	当店のダンボールを搬出し車両に運ぶ際に、ダンボールを抱えたまま、店の前の歩道を横切ろうとしたとき、この歩道を歩いていた歩行者、自転車に気をとられてしまい、足下の段差に気づかずに、踏み外し足を捻挫してしまった。なお、休業は2週間程度の予定で、骨折はしていない。	39	10 ～ 29
1	6～7	作業現場にて、バキューム車による汲み取り作業を始めようと汚水現場に向かう階段を下りたとき、バランスを崩して右足を捻るような形で着地し、転倒した。寒い早朝で暗い中を急いで作業に入ろうとしていたため足元をよく確認せず、右足首右側面を骨折してしまった。	37	30 ～ 49
2	2～3	廃棄物収集作業中、パッカー車に巻き込む為ダンボールを持って歩いている時に、段差を踏み外して左足を捻ってしまい負傷した。	29	10 ～ 29
3	9～10	病院からの回収作業中、裏出入口から廃液の入った20ℓポリタンクを1本ずつ持ち、駐車場に止めている車に向かうため、緩やかな土手1m位の高さから上る途中で、左足ふくらはぎからバキッと音がして衝撃を受けた。	53	50 ～ 99
3	9～10	産業廃棄物積込中に重い物を持ち上げた際、足の接地面の段差に気づかず、右足首を捻り負傷した。	44	50 ～ 99

3	10~11	工場内にて、550kg位のフレコンが乗っているパレットの計量終了時、パレットからハンドリフトを抜こうと何回か引っ張ったところ、力を入れすぎた事により左肩が痛み出し、動かす事が困難になった。	63	1~9
3	11~12	ごみをトラックに入れようとしたとき腰に痛みがでた。	23	30~49
3	16~17	作業終了の為にバレテーナ（鉄製折りたたみ式収納用カゴ）を片付けていたところ、何台目かを移動する時に腰痛を覚えた。	25	10~29
3	15~16	得意先より2tダンプで回収してきた150個程のバッテリー（1個当15kg）を、破碎工場に荷卸し作業している際に（荷台からパレットに積卸）、腰に少し痛みを感じ始めたが作業を継続したところ、痛みが強くなった。積降ろし作業後、2tダンプにて廃棄物回収業務など行い帰社したが、更に痛みが酷くなった。	44	10~29
4	13~14	仕事場で剪定の作業中、剪定した枝を処分しやすくする為斧で短く切っている時に、強く腰を痛めてしまった。	23	1~9
4	11~12	集荷作業中、集荷した内臓脂（60ー70kg）が入ったかごを順にパレットに乗せていた際、かごを持ち上げたところ腰部を負傷した。	56	1~9
4	11~12	当社工場にて業務委託先に納品する紙おむつの段ボール箱を収納し、収納庫から外部へ出ようとした。収納庫に段差があるため、地面にプラスチックパレット（高さ12cm）を置いていた。このパレットに右足をのせたところパレットが破け、右足をひねった。	41	10~29
5	9~10	鉄筋場で部品の加工をし、作業場所に戻る際急いでいた為バランスを崩し左足首を捻挫してしまった。	58	10~29
5	9~10	工場内で散水用スプリンクラーの水出しの為、散水コックへ向かう際、雨水排水用水路を跨ぐ時に足を捻った。	34	30~49

6	11～ 12	破砕棟受け入れステージにて、ごみ選別作業時、不適物（粉碎機に入れられない物等）を除去する際に、炊飯器の大きい物を小型家電置き場に投げた時、右肩を痛めた。	69	30 ～ 49
6	10～ 11	収集場所に到着し、積み込みをして暫くした時に、右膝を捻った感じがし、その時は痛くはなかったが、家に帰ってから強い痛みがあり、病院に行った。ゴミをパッカー車に積み込もうとして、横に体重移動をした時に右膝を捻った。時間が経ってから痛みが酷くなった。	58	50 ～ 99
6	10～ 11	産廃回収作業の為、2Fの事務所より廃品を下ろしている最中に階段で左足をひねり、3段程下に落ちたところで足を踏ん張った為、その衝撃でくるぶし辺りを剥離骨折し、また腓骨上部も骨折した。	42	30 ～ 49
6	9～ 10	本社工場内のテント倉庫内にて、圧縮梱包した製品の全面にラップを巻く作業終了後、製品を押して移動させようと力を入れた瞬間、腰部に痛みが走り動けなくなった。	57	30 ～ 49
7	9～10	当社敷地内で、トラックの荷台（高さ1m）からパチンコ台（H80cm×W50cm×D15cm、30kg）を両手で抱えて下ろす作業をしていた。2、3台下ろしたところで腰に違和感が現れ、その後すぐ痛みが起き立ち上がる事が困難となった。	51	10 ～ 29
7	22～23	廃棄物焼却施設内の供給コンベア上の投入ゴミが大きく絡まり、搬送されなくなりゴミを外部へ掻き出す作業を行った。作業終了後、左ひざに若干の違和感があり、その後左ひざを曲げると強い痛みが変わっていた。左ひざ内側側副じん帯捻挫と診断され、3週間左足を安静にする様医師から指示を受けた。	49	10 ～ 29
7	7～8	弊社リサイクルセンターコンビ第2工場にて、コンテナ内の古紙取り出し作業中に負傷す。コンテナ内一杯に積み込まれた古紙・段ボールを手作業にて取り出す作業において、他の古紙と絡み合っていた段ボールを取り出すために、段ボールの角付近を手に持ち、力いっぱい引き出そうとしたところ、誤って手が滑り、その反動で後方にひっくり返り、コンクリートの床で頭部と左肩を強打し負傷す。	41	1～ 9
7	13～	紙選別ラインにて残土物が入ったコンテナを持ち、残土投入場へ運ぶために3段階の1段目に足をかけた時足元が滑り階段を踏み外した際に足をひねり、体重が	31	50 ～

	14	載ってしまったことで骨折した。		99
7	13～ 14	乗って来た大型車の運転席から地上へ降りた際に、いびつに着地したせいで左足首を捻挫した。	37	100 ～ 299
7	10～ 11	工場入口付近において、廃プラスチックの荷下ろしが終わり、フックロールに搭載したコンテナの後部にある左右開閉型の2枚扉（観音扉）を閉め、地上から2m程の高さにある扉固定型のロックをするため、背伸び姿勢をとってロックのレバーを引き下げたとき、腰部に激痛を感じた。	55	10 ～ 29
7	10～ 11	インター店内駐車場にて、トラックの運転席から降りる際、着地に失敗して左足首を捻り、捻挫を負った。	30	30 ～ 49
9	9～ 10	ごみ集積所で、可燃ごみの積込を行うため、集積小屋の木製の敷居に左足をかけ中に入ろうとしたとき、その左足が滑って転倒しそうになり、転倒を避けるため左足で自分の全体重を支えたところ、左足付け根に激痛があったが、作業を再開した。	49	10 ～ 29
9	13～ 14	お客先現場において、自動ドアで使用するガラス板を車両に積み込む作業を行っていた、被災者は荷台の上におり、ガラス板の引き上げを行っていたが、中腰で引き上げた際に腰に痛みを感じて作業を一時中断した。その後、当日は軽い荷物を運ぶようにして終えたが、その後も作業時に痛みや痺れが出るようになったが、本人が我慢できる程度のものであったので、医療機関での受診をしていなかった、ところが、後日作業中、荷物を運ぶことが困難になるほど痛みが強くなり、翌日以降の作業が不可能と判断、管理者の指示で医療機関で診察を受けたところ、腰椎椎間板ヘルニアで1ヶ月の静養が必要との診断を受けた。	38	100 ～ 299
10	11～ 12	取引先のゴミを持ち上げる際に腰を痛めてしまった。	34	—
12	14～15	選別カート内で廃棄物の選別をしている時に、長さ1.8m・巾0.9m・厚み30mmのベニヤ板を数枚、社長と被災者の2人で移動してBOXの上に載せた。その後、最後に残った1枚のベニヤ板を被災者1人で両手で頭上に持ち上げて、BOXの高さ1.5m位	63	30 ～ 49

		の所に載せた。その後、あばら骨付近に痛みが出る様になった。		
12	15~16	一般家庭ゴミの回収作業の動作によるパッカー車への乗り降り、積み込み作業が原因による腰の痛みと左膝の痛みが発生した。	56	30 ～ 49
12	9~10	地下1Fの紙類回収現場で、パンフレット等を束ねてあるもの（高さ約1.3m、横幅約70cm、重さ約80kg）を、被災労働者が持ち上げてパッカー車に移す際、右肋骨の一部を骨折した。	60	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html